

レインボーバスのあり方検討分科会について

令和3年度 第1回

レインボーバスのあり方検討分科会 資料2

1.目的について

- ① 新型コロナや、少子高齢化の影響により、以前よりさらに地域公共交通全体の利用者が激減
- ② その一方で、高齢ドライバーによる事故が増加傾向にあり、特に交通不便地域における移動困難者への交通手段の確保の重要性が増加

そこで

昨今の取り巻く状況を考慮しながら、レインボーバスの方向性を検討するため、富田林市交通会議においてレインボーバスのあり方検討分科会を設置



現行のレインボーバス車両（富田林駅前）

レインボーバスのあり方検討分科会について

2.任期について

調査及び検討が終了するまでの期間

(任期途中で交代があったときは、後任の委員が引き継ぐ)

3.会議について

- ・ 会議に出席できない等は、代理者の出席にかえることができる
- ・ 議事は、出席委員の過半数
- ・ 会議は原則公開（会議録も公開の対象、市ウェブサイト等にも掲載）
- ・ ただし、公共交通事業者の企業情報等の機密事項に及ぶなどの公開に適さない場合、委員の承認により非公開とする
- ・ 緊急性（新型コロナによる感染防止を含む）のあるものや軽微な事項などの審議は、書面開催の可能性あり



4.協議結果の取り扱いについて

- ・ 検討された内容は、「富田林市交通会議」において随時報告
- ・ 交通会議委員からの意見等も反映し、具体的な方向性を検討
- ・ 取りまとめた方向性は、「富田林市交通会議」において承認
- ・ 地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通計画」にも記載し、確実な実行につなげる